

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010101

事業名		創業促進・商業にぎわい事業					
担当部署		産業経済部商業振興課					
根拠法令		苫小牧市商店街の活性化に関する条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価 A 有効性 公平性 効率性	
	予算・決算額(A)	19,635	15,917	19,301			
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他	11,425	8,792	19,000			
	一般財源	8,210	7,125	301			
人件費(B)	5,192	5,192	5,192				
事業費計(A+B)	24,827	21,109	24,493				
事業の目的		市内商店会における商店街振興策の実施促進、商店街店舗の魅力向上、空き店舗の活用、創業者への支援等によって、市内商店街の活性化を図ります。					
事業の内容		1 イベント・環境整備等助成事業 商店会が行う環境整備（花壇整備等）や加入促進、イベント開催など商店街活性化に係る事業等の経費の一部を助成しました。 2 店舗改装費補助事業 市内全域の店舗を対象に、自店舗の魅力向上又は来場者の増加に繋がるような改装工事を市内施工業者を利用して行う者に対し、その費用の一部を補助しました。 3 空き店舗活用事業 市内商店会の空き店舗を活用して、小売業や飲食サービス業、生活関連サービス業等の店舗を運営する事業者に対し、家賃や移転改装費の一部を補助しました。 4 創業サポート事業 創業計画から創業後の経営基盤の強化まで一貫したフォローを行い、本市の経済を担う新たな中小企業者の育成を図りました。 5 空き店舗調査業務 空き店舗活用を促進するため、空き店舗の調査を委託し、市内全域の空き店舗情報を、市ホームページに掲載しました。					
SDGs17の目標		8 働きがいも経済成長も 9 産業と地域振興の基盤をつくる 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		イベント・環境整備等助成金	件	18	29	20	
		空き店舗活用事業	件	17	13	8	
		創業サポート事業補助金	件	23	21	22	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4	3	2	1		
		有効性	●				イベント支援や環境整備支援など、商店街の魅力向上に繋げて有効に活用されたため、「4」としました。
		効率性	●				各補助金の申請者に、他に活用できる補助金がある場合は併せて案内したことから、「4」としました。
		公平性		●			空き店舗活用事業は、中心市街地とその他地域で補助率に差があり、一部公平性に欠ける部分もあることから、「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		助成・補助件数は堅調に推移しており、各商店会や事業者のニーズに沿った事業内容であると考えます。 令和8年度からはICT・インバウンド環境整備補助事業を新設し、事業者に対する補助事業を拡充しました。また、空き店舗活用事業においては、所在地の限定要件を撤廃し全市一律の補助率としました。 今後も社会状況や地域課題の変化に対応した効果的な振興策を実施するため、適宜見直しを行うとともに、広く周知を図っていきます。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010102

事業名		中小企業振興資金貸付金				
担当部署		産業経済部商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	399,000	350,600	700,000	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	399,000	350,600	700,000		
	一般財源					
人件費(B)	742	742	742			
事業費計(A+B)	399,742	351,342	700,742			
事業の目的		中小企業者等に対し、事業活動に必要な運転資金及び設備資金の融資の円滑化を図ることにより、経営基盤の強化及び経営の安定化を図ります。				
事業の内容		SDGs17の目標 8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる、つかう、つなぐ 1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、かつ、市税を完納している中小企業者等 2 融資金額 運転資金：4,000万円以内、設備資金：4,000万円以内 3 融資利率 1年以内：年1.9%、1年超5年以内：年2.5%、5年超：年2.6% ※令和8年3月31日時点の利率 4 融資期間 運転資金：10年以内、設備資金：12年以内				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		融資金額	千円	878,040	918,170	882,570
		融資件数	件	58	55	54
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				本資金は、市内中小企業者に広く活用されていることから、「4」としました。
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		本資金は市内中小企業者等に広く活用されており、市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		・決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。 ・令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

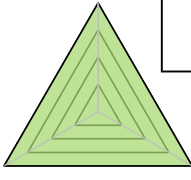
款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010103

事業名		小規模企業経営改善資金貸付金				
担当部署		産業経済部商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,130,000	1,130,000	1,130,000	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	1,130,000	1,130,000	1,130,000		
	一般財源					
	人件費(B)	742	742	742		
	事業費計(A+B)	1,130,742	1,130,742	1,130,742		
事業の目的		小規模企業者等に対し、事業活動に必要な資金調達の円滑化を図り、経営の安定に資することを目的とします。				
事業の内容		- 融資対象 常時使用する従業員数50人以下の法人及び個人で、市内に独立した事務所があり、かつ、市税を完納していること - 融資金額 運転資金：2,000万円以内、設備資金：2,000万円以内 - 融資利率 1年以内：年1.5%、1年超：年2.0% ※令和8年3月31日時点の利率 - 融資期間 運転資金：7年以内、設備資金：15年以内 - その他 資本金の額が1,000万円以下かつ、常時使用する従業員の数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業、サービス業にあっては5人、医療を主業とする法人にあっては20人）以下の小規模企業者への信用保証料補給制度対象資金。（上限30万円）				
SDGs17の目標		   				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	融資金額		千円	1,735,010	1,422,370	1,055,140
	融資件数		件	182	136	114
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				本資金は、市内小規模企業者等に広く活用されていることから、「4」としました。
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
公平性		●				市内小規模企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		本資金は市内小規模企業者等に広く活用されており、市内小規模企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		・決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。 ・令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010104

事業名		中小企業機械等購入資金貸付金					
担当部署		産業経済部商業振興課					
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価 B 有効性 公平性 効率性	
	予算・決算額(A)	9,000	2,100	40,000			
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他	9,000	2,100	40,000			
	一般財源						
人件費(B)	519	519	519				
事業費計(A+B)	9,519	2,619	40,519				
事業の目的		中小企業者等の設備の近代化、合理化を促進するために必要な機械等の購入資金を融資することにより、中小企業者等の振興、育成を図ります。					
事業の内容		SDGs17の目標 8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同一事業を営み、かつ、市税を完納している中小企業者等 2 資金使途 設備資金：生産、加工、試験又は検査に使用する機械等の設置 3 融資金額 2,000万円以内 4 融資利率 年2.2% ※令和8年3月31日時点の利率 5 融資期間 10年以内					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		融資金額	千円	0	0	4,740	
		融資件数	件	0	0	1	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
		有効性		●			本資金は、市内中小企業者等の機械等設備投資における資金調達の一翼を担っているものの、融資件数が少ないことから、「3」としました。
		効率性	●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
		公平性		●			市内中小企業者等のうち、機械等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		本資金は、機械等の設備投資を行う市内中小企業者等における資金調達の一翼を担っておりますが、市内中小企業者等にとって、より実用性の高い事業となるよう、制度の周知や関係機関からのヒアリングを強化するなど、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		・ 決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。 ・ 令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010105

事業名		店舗近代化設備資金貸付金					
担当部署		産業経済部商業振興課					
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価 B 有効性 公平性 効率性	
	予算・決算額(A)	70,000	41,000	70,000			
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他	70,000	41,000	70,000			
	一般財源						
人件費(B)	519	519	519				
事業費計(A+B)	70,519	41,519	70,519				
事業の目的		中小商業者の店舗近代化に必要な資金を融資することにより、中小商業経営の近代化促進と地域の景観整備に貢献し、その振興を図ります。					
事業の内容		1 融資対象 市内中小商業者のうち、常時使用する従業員の数が50人以下の物販小売業・飲食店を営む企業及び事業協同組合等 2 資金使途 (1) 店舗の新築、増改築資金 (2) 組合が行う共同店舗建設資金 (3) テナント入店に要する内装設備資金 (4) 不動産等購入資金 3 融資金額 1 企業5,000万円以内、1 組合8,000万円以内（テナント入店資金2,000万円以内） 4 融資利率 年1.9% ※令和8年3月31日時点の利率 5 融資期間 20年以内					
SDGs17の目標		8 8 質の高い成長を促進する 9 9 産業・科学技術イノベーションを促進する 11 11 持続可能な都市とコミュニティを構築する 12 12 つくもの責任					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		融資金額	千円	50,000	50,000	0	
		融資件数	件	1	1	0	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性			●			本資金は、市内中小商業者の設備投資における資金調達の一翼を担っているものの、融資件数が少ないことから、「3」としました。	
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。	
公平性			●			市内中小企業者のうち、店舗の新築・増改築資金等の設備投資を行う中小商業者に限定していることから、「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性		本資金は、店舗新築等の設備投資を行う市内中小商業者における資金調達の一翼を担っており、市内中小商業者の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		・ 決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。 ・ 令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010106

事業名		中小企業環境保全施設資金貸付金				
担当部署		産業経済部商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	有効性 公平性 効率性 B
	予算・決算額(A)	18,000	2,100	60,000		
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	18,000	2,100	60,000		
	一般財源					
人件費(B)	519	519	519			
事業費計(A+B)	18,519	2,619	60,519			
事業の目的		中小企業者等が、その事業活動に伴って発生する公害を防止するための施設整備資金、ゼロカーボンに関連する環境への負荷の低減や環境の保全に資するための施設整備資金を融資することにより、環境保全対策の推進を図り、市民の生活環境を向上させ、中小企業者等の振興を図ります。				
事業の内容		1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同じ事業を営み、かつ、市税を完納している中小企業者等 2 融資金額 (1) 設備資金／移転資金 1件につき3,000万円以内 ア 公害の処理又は防止のための設備の設置又は改善に要する経費 イ 公害防止のために工場等を移転するための建設、設置等に要する経費 ウ 産業廃棄物の処理、資源化、再利用のための設備の設置又は改善に要する経費 エ ゼロカーボンに有効な設備等を導入する経費 オ 再生可能エネルギーを活用する設備を導入する経費 (2) 次世代自動車導入資金 1企業につき2,000万円以内 ア 次世代自動車（電気自動車、ハイブリッド車、燃料電池自動車、天然ガス車等）の導入経費及びその燃料供給設備設置経費 3 融資利率 年1.7% ※令和8年3月31日時点の利率 4 融資期間 10年以内				
SDGs17の目標		8 働きがいも経済成長も 9 産業と資源効率の振興をつつみう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		融資金額	千円	0	0	4,540
		融資件数	件	0	0	1
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性			●			本資金は、市内中小企業者等の公害防止設備等の設備投資における資金調達の一翼を担っているものの、融資件数が少ないことから、「3」としました。
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
公平性			●			市内中小企業者等のうち、公害防止設備等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		本資金は、公害防止やゼロカーボンに向けた環境負荷低減の設備投資を行う市内中小企業者等の資金調達の一翼を担っておりますが、より実用性の高い事業となるよう、令和7年度からは本資金を信用保証料補給金の対象に追加しており、今後も事業内容の見直し含め、市内金融機関と連携した取組が必要と考えております。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項		・ 決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。 ・ 令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

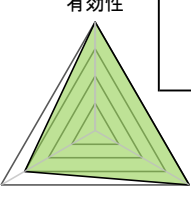
款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010107

事業名		小規模企業経営改善資金等信用保証料補給金				
担当部署		産業経済部商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	20,000	13,844	20,000	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	20,000	13,844	20,000		
	人件費(B)	742	742	742		
	事業費計(A+B)	20,742	14,586	20,742		
事業の目的		小規模企業経営改善資金又は中小企業環境保全施設資金を借入れたときに、北海道信用保証協会へ支払う信用保証料を補給することにより、中小・小規模企業者等の健全な経営に資することを目的とします。				
事業の内容		SDGs17の目標     1 信用保証料の補給対象 (1) 小規模企業経営改善資金を借入れた中小・小規模企業者のうち、資本金の額もしくは出資の総額が1,000万円以下、かつ、常時使用する従業員の数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業及びサービス業にあっては5人、医業を主たる事業とする法人は20人）以下の会社又は個人 (2) 中小企業環境保全施設資金を借入れた中小・小規模企業者等 2 信用保証料の限度額 運転資金、設備資金、移転資金及び次世代自動車導入資金それぞれ30万円を限度として中小・小規模企業者等へ補給 3 信用保証料の補給金の返納 信用保証料の補給を受けた中小・小規模企業者等が、一部又は全部を繰上返済したことにより約定貸付期間が繰り上がり、北海道信用保証協会からの信用保証料の返戻を受けたときは、中小・小規模企業者等が負担した信用保証料を差し引いた、その返戻分について、市長へ返納するものとします。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		補給金額	千円	23,778	15,465	13,844
		補給件数	件	136	98	97
項目評価		高 → 低 4 3 2 1 評価の理由				
有効性		●				本事業は、小規模企業経営改善資金等を借入れた中小・小規模企業者等に広く活用されていることから、「4」としました。
効率性		●				小規模企業経営改善資金等を利用した融資に係る信用保証料を対象としており、小規模企業経営改善資金貸付金等との相乗効果により、効果的に円滑な資金調達の支援を行うことができているため、「4」としました。
公平性			●			小規模企業経営改善資金等を借入れた中小・小規模企業者等のみを対象としていることから、「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		本事業は、中小・小規模企業者等が小規模企業経営改善資金等を借入れた際に発生した信用保証料を補給することによって、事業者の資金繰りに重要な役割を果たしています。令和7年度からは中小企業環境保全施設資金貸付金も本制度の対象に追加しており、今後も円滑な資金繰りの一助となるよう市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

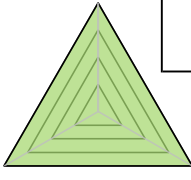
款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010108

事業名		中小企業振興事業				
担当部署		産業経済部商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,324	1,044	4,978	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	700	700			
	一般財源	624	344	4,978		
	人件費(B)	3,709	3,709	3,709		
	事業費計(A+B)	5,033	4,753	8,687		
事業の目的		苫小牧市中小企業振興条例及び第二次苫小牧市中小企業振興計画に基づき、中小・小規模事業者のニーズや抱えている課題等を把握するとともに、計画内容の実現に向けた施策を継続的に実施して中小・小規模事業者の振興を図ります。				
事業の内容		SDGs17の目標   1 中小企業振興審議会 第二次苫小牧市中小企業振興計画の進捗管理や計画に基づいた有効な支援策等について審議を行いました。 2 中小企業振興セミナーの開催 中小企業振興計画の三本柱である創業、人材育成、販路拡大の課題解決のため、市内中小企業等のICT利活用を促進するとともに、ICTを活用する事業者コミュニティを創出させることを目的として、令和7年度は商店街の実情に即したICTセミナーを計11回開催いたしました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	中小企業振興審議会		回	4	4	3
	中小企業振興セミナー参加者（延べ人数）		人	65	67	116
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			本事業では、市の中小企業振興事業の方向性を定める中小企業振興審議会を開催するとともに、ニーズに応じて中小企業推進事業を継続的に実施しており、市の中小企業施策の中心を担っていることから「4」としました。	
	効率性	●			事業費の大半が審議会委員への報酬と中小企業振興事業に係る委託料であり、必要最低限の経費で各種事業を展開しているため、「4」としました。	
	公平性	●			審議会は中小企業振興条例に基づき、中小企業団体を中心に有識者や市民等幅広い人材で構成され実施していることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		市内中小・小規模事業者の振興に向け、中小企業振興条例に基づく中小企業振興審議会等により、有効な市の支援策について継続的に審議・議論するとともに、令和8年度は市内中小企業の実態を把握するためのアンケート調査を実施し次期計画の基礎資料にするほか、ニーズに応じた中小企業推進事業を継続的に実施してまいります。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010109

事業名		中小企業人材育成補助				
担当部署		産業経済部企業政策室工業雇用政策課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	744	685	744		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	744	685	744		
人件費(B)	742	742	742			
事業費計(A+B)	1,486	1,427	1,486			
事業の目的		中小企業大学校旭川校など、独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修事業に従業員等を受講させる場合、中小企業人材育成補助金を交付し、中小企業の人材育成の促進を図ります。				
事業の内容		中小企業の事業主が経営力・技術力強化のため、従業員等を受講させた中小企業大学校旭川校などの講座受講料の一部を補助しました。また、市内でサテライトゼミを開催し、市外からの参加者を含め24人が参加しました。 SDGs17の目標   1 補助要件 (1) 本市に事業所又は事務所がある中小企業者であること (2) 本市の市税に滞納がないこと (3) 独立行政法人中小企業基盤整備機構の主催する研修事業を受けること 2 補助上限額 (1) 市外開催 2万円 (2) 市内開催 WEB開催 1万5千円 ※受講料が上限額を超えない場合はその実額 1事業所につき、年間10万円上限としています。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		研修受講人数（補助金交付件数）	人	15	42	37
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●	本事業は市内企業の人材育成・経営基盤の強化に寄与しているものの、即効性の高い事業ではないため、「3」としました。			
効率性		●	市内のサテライトゼミを開催し、旭川大学校での受講より、事業者の距離的・時間的負担の軽減を図っていることから「4」としました。			
公平性		●	市内に事業所又は事務所がある中小事業者を広く対象としていることから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		中小企業の事業継続・発展のためには人材育成が必要不可欠です。研修の受講の周知を図り、人材育成の促進を図ってまいります。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室工業・雇用振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010110

事業名		苫小牧地域産業力強化補助				
担当部署		産業経済部企業政策室工業雇用政策課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	500	500	500		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	500	500	500		
人件費(B)	74	74	74			
事業費計(A+B)	574	574	574			
事業の目的		苫小牧地域における技術の高度化を促進するため、産学官金連携によるものづくり分野での研究開発の推進及びニーズ・地域課題に対応した技術支援の推進を図ります。				
事業の内容		(公財)道央産業振興財団が行う次の事業に対し、苫小牧地域産業力強化補助金を交付しました。 1 地域産業支援事業 財団が取り組んでいる各種支援制度について、リーフレットを作成し、商工会議所の会員に送付するなど積極的な周知活動を行い、制度の活用促進につなげました。 2 産学官金連携事業 複雑化する企業課題に対応するため、苫小牧地域産学官金「GKK」の関係機関や苫小牧工業高等専門学校サテライト「C-base」と連携し、情報交換会や企業訪問により、ものづくり企業の技術開発支援を行いました。また、各種支援制度の活用を促進し、企業ニーズに合わせた情報提供を行うことで、企業の産業力強化を図りました。				
SDGs17の目標						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		説明会参加企業数	社	9	11	11
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●	財団の広報活動を支援し、産学官金連携を推進することは、苫小牧地域の産業力強化に繋がりますが、即効性の高い事業ではないことから「3」としました。			
効率性		●	豊富な知識や広い人脈を持つコーディネーターを有する財団の周知を図ることは、効率的な市内中小企業の支援に繋がることから「4」としました。			
公平性		●	苫小牧地域の技術の高度化のため、市内中小企業へ財団の周知・利活用を促進したことから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		引き続き、財団の利活用や産学官金連携事業を推進してまいります。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室工業・雇用振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010111

事業名		地方創生地域コミュニティ活性化支援事業				
担当部署		産業経済部商業振興課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	16,450	12,488	400	有効性 公平性 効率性 B	
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	14,800	11,700			
	一般財源	1,650	788	400		
人件費(B)	2,967	2,967	2,967			
事業費計(A+B)	19,417	15,455	3,367			
事業の目的		地域完結型のポイントを活用することにより本市地域内での消費活動を循環させることで、本市経済の活性化を図ることを目的としています。				
事業の内容		地方創生地域コミュニティ活性化支援補助金交付要綱及び苫小牧市とまチョップポイント付与等に関する要綱に基づき、苫小牧市限定の地域完結型ポイントを活用する事業を支援する事業です。 とまチョップポイントサービスの実施主体は、令和2年度から㈱オーティスが運営を担っております。				
SDGs17の目標						
8 働きがいも経済成長も 9 産業と地域発展の推進 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任		1 実施主体の業務 (1) 加盟店の開発 (2) 加盟店に対するフォローアップ (3) 加盟店や市が発行したポイントの管理・精算 (4) 利用促進のためのイベントの企画・運営 (5) ポイントシステムの導入 【令和7年度補助】 4,907千円 2 市の取組 (1) イベント等でのポイント発行 (2) 利用促進キャンペーン等 【令和7年度実績】 7,581千円				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		加盟店数（年度末時点）	店	151	163	141
		カード発行枚数（累計）	枚	63,422	63,878	63,991
		アプリダウンロード数（累計）	件	10,889	12,986	13,984
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性				●		加盟店舗が当初目標件数に及ばないことや、事業終了に向けて加盟店によるポイント付与が終了するなど、ポイント利用が減少したため「2」としました。
効率性				●		スタンプラリーやヘルスケアなど、様々な取組を実施していますが、目標数値を達成できていない状況が続いているため「2」としました。
公平性		●				老若男女問わず全市民を対象としたポイントサービスのため「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		本事業は、令和6年度の戦略的事業点検において事業廃止と判断されたことに伴い、令和7年5月をもって加盟店でのポイント付与を終了し、令和8年4月末をもって事業を終了いたしました。 今後につきましては、これまでの取組における成果や課題を十分に検証した上で、市内商業の活性化につながる新たな振興策について検討してまいります。				事業継続・終了等 事業終了（令和8年度）
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010112

事業名		とまなか産業発展・創出事業				
担当部署		産業経済部企業政策室工業雇用政策課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	3,800	3,800	3,800		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	3,400	3,400	3,000		
	一般財源	400	400	800		
	人件費(B)	148	148	148		
事業費計(A+B)	3,948	3,948	3,948			
事業の目的		苫小牧工業高等専門学校と締結した「連携及び協力に関する協定」をもとに、苫小牧高専と協働で中小企業等が抱える課題の解決や、新規事業化の支援を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。				
事業の内容						
SDGs17の目標		C-base運営協議会負担金 平成30年10月に開設した、苫小牧市、苫小牧高等工業専門学校、苫小牧商工会議所で運営する技術経営相談窓口「C-base」では、苫小牧高専教員（コーディネータ）が市内の各支援機関と協力しながら中小企業等が抱える課題の解決にあたっています。各支援機関の分野の異なる専門家と連携しながら、多様な課題に対応し、産業振興を図るため、C-base運営協議会へ負担金を支出しました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		技術相談件数	件	72	66	63
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				C-baseでは、市内企業の技術相談のほか、補助金の申請支援、転職等に関する相談を通して産業の振興に寄与したことから「4」としました。
効率性		●				市、苫小牧高専、商工会議所が市内企業の技術相談窓口であるC-baseを協力して運営しており、効率的に中小企業の技術力向上を支援していることから「4」としました。
公平性			●			中小企業の技術力向上を支援し、ものづくり産業の活性化を図ることは、苫小牧地域全体の産業振興に寄与することから「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		C-baseを拠点に企業の課題解決や共同研究や製品開発などに繋げていくことで、企業の技術力の向上・高度化を図ります。また、企業の交流や情報交換の場などたまり場としての活用を促進してまいります。				
		事業継続・終了等 事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室工業・雇用振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

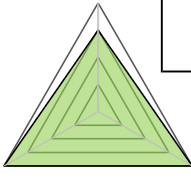
款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010113

事業名		苫小牧イノベーション活性化事業				
担当部署		産業経済部企業政策室工業雇用政策課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	3,894	3,164	8,065		A
	(A)の内訳					
	国道支出金	1,914	1,552	4,000		
	地方債					
	その他	1,980	1,552			
	一般財源		60	4,065		
人件費(B)	742	742	742			
事業費計(A+B)	4,636	3,906	8,807			
事業の目的		課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等を支援し、市内において新技術等を導入する機運の醸成や産業の活性化を図ります。				
事業の内容		課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等に対し、苫小牧イノベーション活性化事業補助金を交付し、地域の特性やニーズに応じたコミュニティ形成の場を形成するイベントに対し、地域イノベコミュ支援事業補助金を交付しました。 (イノベーション活性化事業) 補助率: 中小企業等 3/4 大企業 2/3 上限200万円 (地域イノベコミュ支援事業) 補助率: 4/5 上限20万円又は50万円 1 採択事業(3件採択) 「道内初」鉄道を利用した国際海上コンテナ輸送実証実験」 「AI番割(作業配置)開発による作業管理システム改善」 「第1回まちをDesignする《FINE HOKKAIDO》」				
SDGs17の目標		 				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		補助事業数	件	5	4	3
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●	苫小牧地域における先進的な技術やアイデアを導入し、課題の解決や新規事業の創出を図り産業の活性化に寄与したと考えますが、即効性がある事業ではないため「3」としました。			
効率性		●	(公財)道央産業振興財団や苫小牧高専サテライト「C-base」、市テクノセンター等の関係機関と連携し実施したことから「4」としました。			
公平性		●	事業の募集にあたり、C-baseや財団等と連携し、より多くの市内事業者へ周知を図っていきたいと考えていることや先着順ではなく、審査により採択者を決定していることから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		市内産業の活性化を図る事業として目的に合った事業を実施しております。今後も、地域への波及効果が見込まれる効果的な事業を支援してまいります。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室工業・雇用振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010114

事業名		苫小牧市事業承継推進事業				
担当部署		産業経済部商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	2,044	2,041	2,088	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他			2,000		
	一般財源	2,044	2,041	88		
人件費(B)	2,225	2,225	2,225			
事業費計(A+B)	4,269	4,266	4,313			
事業の目的		近年は、後継者が見つからないことで事業が黒字であっても廃業を選択する企業が多く、企業の休業・解散が増加していることから、中小・小規模企業者を主な対象に、事業承継の必要性の広報及び事業承継を推進するための取組を実施します。				
事業の内容		SDGs17の目標 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 1 事業承継推進給付金 市内の中小・小規模事業者が、市内金融機関又は国の機関である北海道事業承継・引継ぎ支援センターの支援を受けて事業承継（第三者承継に限る）を完了した場合、事業を譲渡した経営者に100万円を給付し、市内中小・小規模事業者における事業承継を推進することにより、休業・倒産を防ぎます。 2 北海道経済産業局の伴走支援を受けた事業承継支援アクションプランの策定 北海道経済産業局が実施する令和7年度中小企業活性化・事業承継総合支援事業（北海道内の自治体を中心とする事業承継支援実証事業）による伴走支援を受け、地域の現状把握や関係機関によるワークショップを開催し、事業承継支援のアクションプランを策定しました。また、これらの取組を通じて関係機関との有機的な体制構築を図りました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	給付件数		件	5	2	2
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●				実現が難しいと言われている『事業承継』という課題に着目した事業であり、令和7年度も2件の実績（予算上限）があるため、「4」としました。
	効率性	●				市内金融機関及び北海道事業承継・引継ぎ支援センター、苫小牧商工会議所と連携している事業のため、「4」としました。
	公平性	●				親族、役員、従業員承継を除く第三者承継のみを対象としていますが、「廃業を防ぐ」という目的で実施しているものであるため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		後継者問題を抱える中小・小規模企業者の廃業を防ぐため、給付金の支給により事業承継を強力に推進します。あわせて、関係機関と連携を図りながら事業承継支援アクションプランに基づく支援機関の周知やセミナーの開催等の取組を通じて、きめ細やかな支援体制を構築してまいります。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010115

事業名		ぶらっとみなと市場施設整備事業				
担当部署		産業経済部商業振興課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	2,145	1,680	4,380	有効性 公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	2,145	1,680	4,380		
	一般財源					
人件費(B)	3,709	3,709	3,709			
事業費計(A+B)	5,854	5,389	8,089			
事業の目的		ぶらっとみなと市場は本市有数の観光施設として、市内外から多くの方々が利用している施設であるため、観光施設としての魅力向上を図るとともに、施設の老朽化対策を推進します。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任		老朽化した水抜栓の取替を実施したほか、舗装整備、ドア部品交換等の施設の老朽化対策を実施しました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		来場者数（組合による集計値）	人	1,302,035	1,387,726	1,243,700
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				本市有数の観光施設として市内外から多くの方々を利用している施設であり、漁港区エリアの賑わい創出に寄与していることから、「4」としました。
効率性		●				来客者の利便性向上や施設の老朽化に対応するため、適宜、修繕等の整備を実施するなど効率的な維持管理に努めていることから、「4」としました。
公平性			●			本施設は、市民や観光客など広範に便益が及ぶものの、商業協同組合苫小牧港市場の二者だけへの貸付施設であることを踏まえ、「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		本施設は複数の物販店や飲食店が出店している漁港区エリアを代表する観光施設である一方で、建設から50年以上が経過し建物や設備等の老朽化が顕著となっており、施設の機能を維持するため老朽化対策を推進していきます。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010116

事業名		中小企業物価高騰対策支援事業				
担当部署		産業経済部商業振興課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	202,000	26,756	-	有効性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	181,000	23,000			
	地方債					
	その他					
	一般財源	21,000	3,756			
人件費(B)	3,368	3,368	-	公平性		
事業費計(A+B)	205,368	30,124	-			
事業の目的		エネルギー価格・物価高騰等の影響は長期化しており、業種業態を問わず市内中小・小規模事業者の広い範囲に及んでいます。このため直接的な支援をすることにより、市内中小・小規模事業者の事業活動への影響を最小限に抑えます。				
事業の内容 SDGs17の目標 		1 支給額 1事業者あたり、10万円を給付する（1事業者につき1申請）。 2 対象要件（次の(1)～(3)の全てを満たすこと。） (1)資本金の額又は出資の総額が10億円未満であること。定めない法人の場合は、常時使用する従業員の数が2,000人以下であること。 (2)法人：苫小牧市内に本店登記を行っている、もしくは法人税の納税地（本店又は主たる事業所の所在地等）が苫小牧市であること。 個人：住所又は、所得税の納税地が苫小牧市であること。 (3)令和8年1月から令和8年6月までの対象期間のうち、以下のいずれかに該当すること。 ア 対象期間のうちのひと月の売上が令和4年1月から令和7年6月までのいずれか1年との同月比で30%以上減少した月があること。 イ 対象期間のうちのひと月の仕入れ額または経費が、令和4年1月から令和7年6月までのいずれか1年の同月を超え、かつ利益（売上－仕入れ額または経費）が10%以上減少していること。 ウ 対象期間のうちのひと月の光熱費（電気・ガス）のいずれかが令和4年1月から令和7年6月までのいずれか1年との同月比で20%以上増加した月があること。 ※過去に国や道、市が実施した給付金等の受給有無は問わない。 3 申請受付期間 令和8年2月20日～令和8年8月31日				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		支援金額	千円	-	-	26,400
		支援件数	件	-	-	264
項目評価		高 → 低 4 3 2 1	評価の理由			
有効性		●	売上や利益の減少、光熱費増加の影響を受けた中小・小規模事業者に対して事業継続につながる支援を行うことができたため、「4」としました。			
効率性		●	事業費の大半は支援金であり、必要最低限の事務費と人件費のみで効率的に事業を展開できたため、「4」としました。			
公平性		●	中小・小規模事業者を幅広く対象としていることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		本事業は、国の重点支援地方交付金を活用し物価高騰の影響を受けている中小・小規模事業者の事業活動への影響を最小限に抑えることを目的に実施したのですが、今後とも国の交付金等の動向を注視しながら中小・小規模事業者への支援を検討してまいります。				
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室商業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

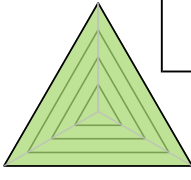
款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010201

事業名		苫小牧港管理組合負担金				
担当部署		産業経済部企業政策室企業港湾政策課				
根拠法令		苫小牧港管理組合同規約				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	728,763	728,763	800,356	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	728,763	728,763	800,356		
	人件費(B)	10,384	10,384	10,384		
	事業費計(A+B)	739,147	739,147	810,740		
事業の目的		苫小牧港の港湾整備に要する事業経費、苫小牧港管理組合の管理運営などに要する経費と港湾に係る収入、国の支出金等の収支不足分を苫小牧港管理組合同規約に基づき、北海道と苫小牧市の負担金として持分負担します。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		  ・東港区周文ふ頭複合一貫輸送ターミナルにおける岸壁等の整備（機能強化・緊急物資輸送） ・西地区汐見地区における岸壁等の改良（機能強化） ・西港区の航路埋没浚渫（老朽化対策） ・西港区本港地区内のふ頭間道路の整備 ・西港区元町地区及び勇払浜地区における離岸堤の改良（老朽化対策） ・西港区東ふ頭、中央北ふ頭、中央南ふ頭における岸壁等の改良（老朽化対策）				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	取扱貨物量（外貿）		千 t	16,322	16,144	17,981
	取扱貨物量（内貿）		千 t	84,958	83,897	83,731
	取扱貨物量（合計）		千 t	101,280	100,041	101,712
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●				着実な港湾整備や管理運営により、本市はもとより、北海道の発展に大きく貢献しているため「4」としました。
	効率性	●				効率的な港湾整備・管理運営が実施できているため「4」としました。
	公平性	●				公平性を保つよう十分に努めているため「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		・国と連携した東港区周文ふ頭の複合一貫輸送ターミナル整備により、国内物流の機能強化と安定確保を推進します。 ・利用者ニーズを的確に把握し、指定管理者や関係者と連携してターミナル機能の向上に取り組みます。 ・次世代エネルギーの利活用や港湾機能の高度化を通じ、温室効果ガス排出ゼロを目指す港湾形成を推進します。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室港湾・企業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010202

事業名		企業立地振興条例助成						
担当部署		産業経済部企業政策室企業港湾政策課						
根拠法令		苫小牧市企業立地振興条例						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)	218,293	215,572	123,767	有効性 公平性 効率性	A		
	(A)の内訳							
	国道支出金							
	地方債							
	その他	32,400	33,400					
	一般財源	185,893	182,172	123,767				
人件費(B)	4,450	4,450	4,450					
事業費計(A+B)	222,743	220,022	128,217					
事業の目的		事業場の新設・増設、それに伴う新規雇用、緑化事業を行ったものに対し、助成金の交付を行い、もって地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図り、本市の発展に寄与します。						
事業の内容		SDGs17の目標 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 1 事業場設置助成金 事業場の新增設を行った企業に対し、2～3年分の固定資産税相当額を助成しました。 ※3年間に分割して交付します。 2 雇用助成金 事業場の新增設に伴う新規雇用に対し、1人につき30万円×34人分助成しました。 3 緑化助成金 事業場の新增設に伴う緑化工事に対し、緑化に要した費用の30%を助成するもの。(令和7年度は交付なし)						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		
		事業場設置助成金	千円	308,710	335,253	205,372		
		雇用助成金	千円	11,400	4,200	10,200		
		緑化助成金	千円	2,499	10,000	0		
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
		有効性	●					数多くの企業に活用いただいているため、「4」としました。
		効率性	●					企業立地振興条例に基づいた助成を実施しているため、「4」としました。
		公平性	●					企業立地振興条例に基づいた助成を実施しており、進出企業への周知を行っているため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		各項目評価のとおり、多くの企業に活用いただき、新たな設備投資や雇用の創出に繋がっています。 今後も進出企業へ積極的なPRを図っていくとともに、経済動向に合わせ、制度の見直しを検討していきます。				事業継続・終了等		
						事業継続		
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室港湾・企業振興課						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010203

事業名		苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会負担金					
担当部署		産業経済部企業政策室企業港湾政策課					
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	1,500	1,500	1,600	有効性 公平性 効率性	B	
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	1,500	1,500	1,600			
人件費(B)	1,483	1,483	1,483				
事業費計(A+B)	2,983	2,983	3,083				
事業の目的		市民や地元企業などに対して、CCUS（二酸化炭素・回収・有効利用・貯留）・カーボンリサイクルに係る実証試験等のプロジェクトや関連産業に対する地元誘致に対する理解と機運の醸成を図ります。					
事業の内容							
SDGs17の目標		7 クリーンエネルギーを安全かつ持続的に利用する  13 気候変動に具体的な対策を  1 事業の進捗状況や活動等について掲載した機関紙「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会通信Vol. 16」を発行しました。 2 市庁舎に設置したモニターでCCS大規模実証試験に関するモニタリング結果や広報・周知活動等を放映を行ったほか、パネル展等への後援・協力を行いました。 3 関係機関と連携してスマートエネルギーWEEKに出展しました。 共同出展者：日本CCS調査(株)、苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会 来場者：会場全体68,840名、苫小牧ブース約200名					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
		CCS講演会「地球温暖化とCCS」		人	190	180	200
		子ども実験教室・夏休み宿題教室		人	102	134	102
		現場視察会		人	39	21	40
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3				
有効性		●				国の「2050年カーボンニュートラル」に向けた方向性とも合致しており、有効性の高い活動であると考えられるため「4」としました。	
効率性			●			各部会を通じ連携を図るも、事業推進には更なる協力体制の強化が不可欠なため、自己評価を「3」としました。	
公平性			●			モニターや機関紙で周知に努めるも、今後はより広範かつ効果的な情報発信を展開する必要があるため、自己評価を「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性		昨今の国内外における脱炭素やCCUS関連事業の進展を踏まえ、目的に沿った活動を展開できています。今後も関連情報の収集を徹底するとともに、国や関係機関、地元企業と緊密に連携し、更なるプロジェクト誘致に向けた取り組みを継続します。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室港湾・企業振興課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010204

事業名		立地企業サポート事業					
担当部署		産業経済部企業政策室企業港湾政策課					
根拠法令		苫小牧立地企業サポート事業補助金交付要綱					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	46,591	43,288	48,883	有効性 公平性 効率性	A	
	(A)の内訳	国道支出金	1,154	1,154			5,332
		地方債					
		その他	43,000	42,000			43,000
		一般財源	2,437	134			551
	人件費(B)	4,450	4,450	4,450			
	事業費計(A+B)	51,041	47,738	53,333			
事業の目的		雇用機会の創出と雇用の安定化を目的として、市内に事業所を有する企業等を対象に、人材確保への支援や雇用環境改善に係る補助や支援を行います。					
事業の内容							
SDGs17の目標							
8 働きがいも経済成長も		市内の立地企業を対象に、従業員の定着率の向上や雇用の安定化を目的とした労働環境の改善のための設備投資や、経営の安定化を目的とした展示会や商談会への出展経費、人材の確保を目的とした就職説明会への出展経費、設備投資に対して補助を行いました。また、ゼロカーボン実現のためのコンサルティング支援を行い、ゼロカーボン促進への機運醸成に向けた事業を実施しています。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		展示会や商談会への出展経費等の補助件数	件	12	6	9	
		ゼロカーボン実現のための設備投資への補助件数	件	6	6	14	
		ゼロカーボン支援コンサルティング活用件数	件	26	25	35	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				人材確保への支援や雇用環境改善に繋がるよう周知を行い、多くの企業へ補助を行ったため「4」としました。	
効率性		●				補助上限額を設定するなど、より多くの企業に事業を活用いただけるよう見直しを行い、効率化を図りながら事業を実施していることから「4」としました。	
公平性		●				事前に十分な広報を行い、補助対象企業は選定委員会により決定するなど、公平性を図り事業を実施したため「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、目的に適した事業展開ができていますが、より効果的な事業とするため、事業の認知度向上に繋がる取組を実施していきます。今後も継続的に立地企業との意見交換・情報共有を図り、より効果的な事業となるように制度を見直しながら、課題解決に向けて連携・協力・フォローアップを行います。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室港湾・企業振興課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010205

事業名		苫小牧港PR促進事業				
担当部署		産業経済部企業政策室企業港湾政策課				
根拠法令		苫小牧港PR促進事業補助要綱				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,000	1,000	1,000	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他			1,000		
	一般財源	1,000	1,000			
人件費(B)	742	742	742			
事業費計(A+B)	1,742	1,742	1,742			
事業の目的		「みなとオアシス」の区域並びに施設を一体的に利用し、地域の賑わいを創出する住民参加型の取組を推進するため、関係機関や市民との連携を図るとともに、関連事業活動の継続性の確保と支援を行い、港湾都市「苫小牧」の活性化に寄与することを目的とします。				
事業の内容		【みなとオアシス苫小牧運営協議会としての事業】※苫小牧港PR促進事業分 1 みなとオアシスSea級グルメ全国大会inあおもり への出店 2 PRの強化 ・親水空間の美化による魅力向上のため、花壇へ花苗の植え付けを実施 ・港に親しむ機会の創出のため、キラキラ公園にて子どもを対象にした写生会を実施 ・港を知り、港に親しむことを目的に、港周辺にて説明を伴ったウォーキングイベントとフェリー船内見学会を実施 ・写生会の作品を苫小牧西港フェリーターミナルにて展示				
SDGs17の目標		11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		Sea級グルメブース来場者（販売食数）	人	1,337	443	898
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				Sea級グルメ全国大会への出展を通じ、港湾都市・苫小牧の魅力を広く発信し、効果的な周知・宣伝を展開できたため、「4」としました。
効率性		●				Sea級グルメ全国大会への参画や多角的なPR事業を精力的に展開し、本市の魅力を広く発信できたことから、「4」としました。
公平性			●			多くの市民や団体等と連携し事業を展開しておりますが、さらなる市民周知や関係先の拡大に向けた伸びしろがあると考え、「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		「みなとオアシス苫小牧運営協議会」への支援を継続し、交流人口の拡大や観光客の誘致を推進することで、苫小牧港の魅力発信とさらなる賑わいの創出に取り組んでまいります。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室港湾・企業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

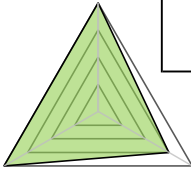
款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010206

事業名		テクノセンター機器整備事業				
担当部署		産業経済部企業政策室テクノセンター				
根拠法令		苫小牧市テクノセンター条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	21,936	21,580	16,614	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金			9,000		
	地方債					
	その他	21,010	20,776			
	一般財源	926	804	7,614		
	人件費(B)	24,019	24,019	24,019		
	事業費計(A+B)	45,955	45,599	40,633		
事業の目的		地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化に寄与するため、テクノセンターの機器および設備を整備し、その充実を図ります。				
事業の内容		地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化を促進して産業支援を図るためには、継続的に基盤整備が必要であることから、老朽化した既存機器の更新や最新の技術水準に対応した機器の新規導入を計画的に進めております。 SDGs17の目標   1 事業の内容 (1) 設備機器の操作法指導及び利用開放を行っております。 (2) 企業からの依頼による依頼試験、検査等を行い、成績書を発行しております。 (3) 企業の技術力向上に資するため、技術相談や技術指導を行っております。 (4) 技術研修会や技術講習会を随時開催しております。 2 新規導入機器 金属等の組織観察に不可欠な顕微鏡観察用試料調整システムを導入し、機器利用や依頼試験などを通じて企業支援を実施しました。なお、システム導入費の約3分の2については補助金を活用しました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	機器利用・依頼試験		件	3,029	4,299	2,903
	技術相談・技術指導		回	90	103	90
	技術研修会・技術講演会参加者		人	213	144	201
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			令和7年度におけるセンターの延べ利用数は3,000件を超え、依然高い水準を維持していることより、「4」としました。	
	効率性		●		設備機器は企業ニーズに対して円滑に運営されており、稼働状況も安定していることから、効率的に事業が実施されていると判断し、「3」としました。	
	公平性	●			全ての企業に利用機会が確保されているとともに、利用料等についても受益者負担の考え方に基つき適切に負担していただいていることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		地域企業では人材不足が進むなか、競争力を維持・強化するために、技術力の向上や生産技術の高度化がこれまで以上に求められております。そのため、テクノセンターには高度な技術支援と最新設備の提供が期待されていますが、設備の高機能化に伴い導入費用が年々高額化している状況です。 このため、必要な機器整備を着実に進めるために、各種補助金など外部資金の活用も併せて検討します。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010207

事業名		苫小牧クルーズ振興協議会負担金				
担当部署		産業経済部企業政策室企業港湾政策課				
根拠法令		苫小牧クルーズ振興協議会補助金交付要綱				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,000	1,000	1,000	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,000	1,000	1,000		
人件費(B)	742	742	742			
事業費計(A+B)	1,742	1,742	1,742			
事業の目的		苫小牧港に入港するクルーズ船の歓迎体制を構築することにより、クルーズ船文化の創造を図り、更なるクルーズ船の入港に繋げるとともに、苫小牧港の新たな魅力の発信と地域振興及び観光振興に寄与することを目的とします。				
事業の内容		【苫小牧クルーズ振興協議会として実施した事業】 1 クルーズ船入港時における受入対応 ・令和8年3月に苫小牧工業高等専門学校で、クルーズ船寄港時における実施可能な項目の洗い出しや共有等を実施 2 クルーズ船誘致活動 ・クルーズ船誘致活動に向けた船社及び旅行代理店等に対する継続的な訪問活動の実施 ○R7年度実績 ー 日本籍船社訪問：2社／外国籍船社訪問：3社／旅行代理店：1社 3 外国籍船への対応 ・9月にドイツ・ハンブルクで実施されたクルーズ専門の見本市に出展および商談を実施 ○意見交換・商談船社：6社／意見交換企業：1社 4 他港湾への視察 ・金沢港				
SDGs17の目標		11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		クルーズ船入港回数	回	2	2	0
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				クルーズ船の入港に繋げるため誘致活動を実施したため「4」としました。
効率性		●				クルーズ船の入港に繋げるため誘致活動を7社、ドイツで開催されたクルーズ専門の見本市へ出展し7社と意見交換を実施したため「4」としました。
公平性			●			多くの市民と連携しながら事業展開を図りましたが、市民へのツアー助成については検討の余地があることから「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		関係部局との連携強化や積極的な情報収集等により、地域の安全・安心とスムーズなクルーズ船の入港に配慮した受入体制の構築を目指します。その上で、関係団体と連携し、クルーズ船入港時における歓迎体制の充実化と、地域の潜在的なクルーズコンテンツの魅力の発見などに取り組み、苫小牧港の魅力発信と地域振興に努めます。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室港湾・企業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010208

事業名		苫小牧市テクノセンター機器等整備基金積立金					
担当部署		産業経済部企業政策室テクノセンター					
根拠法令		苫小牧市テクノセンター機器等整備基金条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	1,396	1,011	1,500	有効性 公平性 効率性 A		
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	1,396	1,011			1,500
		一般財源					
	人件費(B)	1,071	1,071	1,071			
事業費計(A+B)	2,467	2,082	2,571				
事業の目的		テクノセンターの自律的な企業支援体制を構築するために、令和元年度経済産業省地域イノベーション基盤整備事業にて導入した機器の利用料および手数料収入の一部を、将来の機器整備等に要する費用の財源に充てます。					
事業の内容							
SDGs17の目標							
8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう		令和6年度末基金残高4,569,448円 令和7年度基金積立金1,011,498円 (内訳)手数料収入の一部積立999,600円 基金運用利子11,898円 令和7年度基金取崩し額0円 令和7年度末基金残高5,580,946円					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		基金の年度末残高	千円	3,085	4,569	5,580	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				地域企業の工業技術の高度化促進のために必要な測定機器等の整備に要する費用の財源に充てる事業なので、「4」としました。	
効率性			●			10年程度の積立期間を想定しているのに対して、近年は導入を検討している機器等の価格が高額化する状況にあるため、「3」としました。	
公平性		●				財源はテクノセンター使用料および手数料から充当しており、受益者負担としているため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		地域企業においては、競争力強化に向けた技術力の向上や生産技術の高度化が一層求められており、テクノセンターには、より高度な技術支援の提供と最新設備の充実が期待されています。一方で導入すべき設備機器は年々高額化していることから、本事業による基金積立に加え、各種補助金等の外部資金の活用についても検討し、計画的な機器整備を進めてまいります。				事業継続・終了等	
						事業継続	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

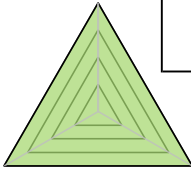
款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010209

事業名		次世代産業等企業誘致事業				
担当部署		産業経済部企業政策室企業港湾政策課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	6,191	6,114	23,134	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	2,000	2,200	10,260		
	地方債					
	その他			12,000		
	一般財源	4,191	3,914	874		
人件費(B)		0	0	0		
事業費計(A+B)		6,191	6,114	23,134		
事業の目的		次世代半導体工場（ラピダス）の立地に伴い、関連企業に対し戦略的かつ実効性の高い誘致活動を展開していくため、進出拠点の候補地としての認知度向上及び企業進出の可能性を高める取組を行います。				
事業の内容		SDGs17の目標 1 北海道苫小牧市産業フィールド視察ツアーの開催 進出に関心のある企業を対象に広大な産業団地、優れた交通アクセスを含む立地環境や優遇制度、居住環境、都市機能等のPRを行い、将来的な企業進出につなげるツアーを実施。 ・企業・港湾の視察 ・ツアー参加企業や地元企業等による企業交流会及び情報交換会 ・ツアー参加企業に対する企業訪問等によるフォローアップ 2 次世代半導体立地促進PR事業 本市の優れた立地環境(広大な産業用地、冷涼な気候、産業インフラ等)を効果的にPRし、市への関心を高め企業進出につなげるため実施。 ・新聞媒体への広告掲載及びインタビュー記事掲載 ・メール広告配信 ・WEBサイト広告				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	産業フィールド視察ツアーの応募企業数		社	-	-	16
	企業交流会の出席者数		人	-	-	200
	関連企業へのアプローチ(企業訪問・視察等)		件	14	45	34
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			進出意向のある企業へ、トップセールスを含む企業訪問による市のPRを実施したことで、企業進出の可能性を高めたことから「4」としました。	
	効率性	●			企業の進出により、人口・税収・雇用の増加などの地域経済活性化、地元企業への波及効果といった大きな効果が見込まれることから「4」としました。	
	公平性	●			全国に本市の情報を発信し、企業誘致を進め、企業が立地することにより、税収や雇用が増加し、市全体の利益となると考えられることから「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		今後の方向性については、単年の事業では効果が見込めないことから、継続して関連企業等へのPR事業を実施するほか、積極的な企業訪問や企業誘致活動、海外企業に向けての誘致活動を実施し、PRのさらなる強化を図ります。また、本市の立地優位性を認識できる視察ツアーや地元企業との交流会を開催するなど、企業進出を促進する事業を展開していく予定です。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部企業政策室港湾・企業振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

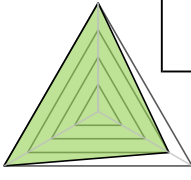
款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号

07010301

事業名		港まつり事業				
担当部署		総合政策部観光スポーツ室観光政策課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	12,850	12,850	5,000	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他		1,000	5,000		
	一般財源	12,850	11,850			
	人件費(B)	19,978	20,775	19,978		
	事業費計(A+B)	32,828	33,625	24,978		
事業の目的		市民の郷土愛を育み、また、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的に開催する、本市夏の最大イベント「とまこまい港まつり」に要する費用の一部を助成します。				
事業の内容		1 メイン会場の中央公園（若草町）では、協賛店136区画、PRブース15区画の露店が立ち並び、ステージでは「お笑いライブ」「ヒーローショー」「駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽局」の演奏など多彩なイベントを実施しました。 2 とまみん苫小牧百年花火では、単発花火やスターメインなど約1万発を打ち上げ、迫力のある光と音楽のショーを繰り広げ、約68,000人の方々に楽しんでいただきました。 3 市民おどりは24団体、マーチングフェスティバルには7団体、ポートカーニバルには6団体が参加し、中心市街地の賑わいを創出しました。 4 第70回の周年行事とし、キラキラ公園をサブ会場に「日本丸」の寄港やキッチンカーの出店、とまチョップふわふわの設置を行うなど、目の前に港を感じられるイベントを開催いたしました。				
SDGs17の目標		8 働きがいも経済成長も 17 パートナリシップで目標を達成しよう				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		来場者数	人	320,000	344,000	347,000
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				市外からの来場者も多く、まちの賑わい創出にもつながることから、「4」としました。
効率性			●			一部運営の業務委託などにより、運営体制を見直しながら実施したため、「3」としました。
公平性		●				全市民に参加・来場の機会が平等にあり、子供から大人まで全員が楽しめるイベントであるため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		港まつり事業として開催していた「とまみん苫小牧百年花火」の開催時期変更に伴う代替事業として、港を感じられるイベント等について、民間企業・団体と連携しながら、官民一体となって市内外の方々に楽しんでいただく内容となるよう、更なる検討を進めます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室観光振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号

07010302

事業名		スケートまつり事業				
担当部署		総合政策部観光スポーツ室観光政策課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	7,260	7,260	6,300	有効性 公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債		1,000			
	その他					
	一般財源	7,260	6,260	6,300		
人件費(B)	13,014	13,014	13,014			
事業費計(A+B)	20,274	20,274	19,314			
事業の目的		氷都とまこまいを市内外にPRし、また、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的に開催する、本市冬の最大イベント「とまこまいスケートまつり」に要する費用の一部を助成します。				
事業の内容		1 メイン会場の中央公園（若草町）では、57店の露店が立ち並び、ステージでは「お笑いライブ」や「キャラクターショー」、60周年記念行事として、豪華ゲストによるスペシャルトークショーなど多彩なイベントを実施しました。 また、会場内では苫小牧の冬の風物詩 名物「しばれ焼き」を実施し、来場者を楽しんでいただきました。 2 陸上自衛隊の協力のもと、メイン会場内に「氷のすべり台」を造るほか、関係行事としてまつりと同日にスケート大会などを行い、「氷都とまこまい」をアピールするイベントを実施しました。				
SDGs17の目標		8 働きがいも経済成長も 17 パートナーシップで目標を達成しよう  				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		来場者数	人	62,000	60,000	60,000
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				市外からの来場者も多く、まちの賑わい創出にもつながることから、「4」としました。
効率性			●			一部運営の業務委託などにより、運営体制を見直しながら実施したため、「3」としました。
公平性		●				全市民に参加・来場の機会が平等にあり、子供から大人まで全員が楽しめるイベントであるため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		現在一部運営を民間企業に業務委託し実施しておりますが、今後も民間企業・団体ならではの知見や柔軟な対応を活用し、官民一体となって市内外の方々に楽しんでいただけるイベントとなるよう検討を行います。 また、物価高騰や人件費の上昇に対応するため、限りある財源の有効活用についても検討します。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室観光振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

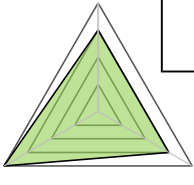
款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号

07010303

事業名		観光振興ビジョン推進事業				
担当部署		総合政策部観光スポーツ室観光政策課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	21,336	20,584	18,453	有効性  公平性 効率性	B
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	9,500	9,500	18,000		
	一般財源	11,836	11,084	453		
	人件費(B)	18,941	18,941	18,941		
	事業費計(A+B)	40,277	39,525	37,394		
事業の目的		令和7年6月に改訂した「苦小牧市観光振興ビジョン【第2期】」に基づき、長期的な視点でまちぐるみの観光振興に取り組み、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。				
事業の内容		1 本市事業者への道外販路拡大の情報提供を行いながら、市外での出店補助を行い、本市への誘客促進につなげました。 2 産業観光推進事業として「とまこまいの港を探索 中学生対象産業観光バスツアー」の開催や産業観光ガイドブックの更新、教育旅行誘致推進事業として本市事業者とともに道外の商談会への参加、旅行事業者への訪問などを行いました。また、アニメツーリズム推進事業として、人気アニメ「ウマ娘 プリティーダービー」とコラボレーションした苦小牧市内を周遊しながら楽しむことができるクイズラリーを開催しました。 3 国内外からの観光入込客のさらなる増加を図るため、雑誌やメディアを活用した観光情報の発信力強化を図りました。 4 交流人口の増加による地域経済の活性化を目的に、各種イベントの実施に要する費用の一部を補助しました（たるまえサンフェスティバル、とまこまいコスプレフェスタ等）。 5 フィルムコミッション事業として、市内でCM撮影やロケ収録が行われる際、撮影が円滑に行われるための環境を整え、映像制作者への支援を行いました。 6 苦小牧市の観光PRとして、エスコンフィールドHOKKAIDOにて苦小牧市ブースを2日間出展し、観戦者に対し苦小牧市のPRを行いました。				
SDGs17の目標		 				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	観光入込客数		千人	2,636	2,894	2,796
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			各種事業の実施により、本市の知名度が向上し、一定程度の誘客促進につながっていることから、「3」としました。	
	効率性	●			観光入込客数については単年度では減少しましたが、本市が持つ観光資源を市内外に向けて情報発信を行ったことにより長期的には増加傾向であることから「3」としました。	
	公平性	●			本市の知名度が向上し、交流人口が増加することで、地域経済の活性化につながるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		令和7年6月に改訂した「苦小牧市観光振興ビジョン【第2期】」に基づき、「観光客から選ばれるまち」となるために、市民や事業者などと連携し交流人口の増加による地域経済活性化を目指します。 また、更なる交流人口の増加に向けた効率的な事業展開を推進するため、マーケティングや観光推進体制について検討を行います。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室観光振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号

07010304

事業名		宿泊税導入検討事業				
担当部署		総合政策部観光スポーツ室観光政策課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	440	75	-	有効性 公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	440	75			
	人件費(B)	742	742	-		
	事業費計(A+B)	1,182	817	-		
事業の目的		新たな行政需要や高度化、多様化する観光ニーズに対応するため、観光振興を目的とした「宿泊税」の導入を検討します。				
事業の内容		SDGs17の目標 宿泊税の導入を検討するにあたり、学識経験者や宿泊事業者を交えた「苫小牧市宿泊税に関する懇談会」を開催しました。 懇談会での検討を経て、苫小牧市における宿泊税の方向性が決定し、令和8年3月に「苫小牧市宿泊税条例案」が市議会で可決されました。 ・第1回懇談会 令和7年 5月29日(木) ・第2回懇談会 令和7年 7月24日(木) ・第3回懇談会 令和7年 11月6日(木)				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		懇談会開催回数	回	-	-	3
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				有識者を交えた懇談会の開催により、様々な意見を取り入れながら苫小牧市における宿泊税の方向性を決定することができたため、「4」としました。
効率性		●				宿泊税の導入により、安定的な財源確保につながることから、「4」としました。
公平性		●				宿泊税は、観光客だけでなく、市民にも還元される施策に活用できることから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		宿泊税をどのような施策に活用していくかが今後の課題であり、観光振興及び地域経済の活性化につながる効果的な活用策について、引き続き検討を進めます。				事業継続・終了等 事業終了(令和7年度)
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室観光振興課				